

会 議 録

会議の名称	平成27年度 第2回 富士見市スポーツ推進審議会
開催日時	平成27年11月10日（火）19時30分～21時00分
開催場所	教育委員会 会議室
出席者	加藤連治委員、大竹ミイ子委員、田中悦子委員、北田裕一委員 天野豪雄委員、久米原明彦委員、神谷和義委員、井上拓哉委員、 菅高志委員 アドバイザー（作野誠一早稲田大学准教授） 事務局（生涯学習課：木村課長、大堀副課長、宇津木主事）
欠席者	佐藤俊博委員
会議次第	議事 （1）報告事項 ①市民総合体育館復旧の状況について （2）協議事項 ①（仮称）富士見市スポーツ推進計画（案）について ・現状と課題について（その1） ・施策体系（案）の考え方について ・ヒアリング調査の実施について （3）その他
会議資料	（資料1）市民総合体育館の復旧状況について （資料2）現状と課題について（その1） （資料3）施策体系（案）の考え方について （資料4）ヒアリング調査の実施について
公開・非公開	公開（傍聴人 0人）
会議録確認	加藤連治会長

会議内容

1 開 会

2 あいさつ 加藤会長

3 諮 問 審議会会長へ諮問

（富士見市スポーツ推進計画（案）の策定について）

4 議 題

(1) 報告事項

①市民総合体育館復旧の状況について

事務局…市民総合体育館の復旧方策については、既存の柱や壁を活かして屋根を架け替えていくことで決定させていただいた。

本年9月議会定例会において復旧工事にかかる設計費の補正予算を計上し、9月の29日に可決された。

この間、設計の委託業者が決定し、これから設計作業を始めていく。平成28年3月までに設計をまとめ、来年度の当初予算に、復旧にかかる工事費の予算案を提案していく予定。

予算案が可決された場合は、来年度1年をかけて工事を実施し、平成29年4月より、全面再開をしていくというスケジュールを予定している。

【意見交換】

委員長…工事費としてはどの程度を想定しているのか。

事務局…屋根架け替えの場合は約10億円、メインアリーナ建て替えの場合は約25億円として公表した。

今回、サブアリーナ棟も改修する予定であるので10億円+αになるものと想定している。これから設計をはじめるので、具体的な工事費は未定。

(2) 協議事項

①(仮称)スポーツ推進計画(案)について

・現状と課題について(その1)

事務局…前回の審議会では、計画の策定や趣旨、位置づけ、計画期間や定義などを協議し、ご了解をいただいた。

今回は、計画を作成していくにあたり、まず市のスポーツの現状や課題はどうなっているのかを統計データや各種計画などを基に、現状と課題(その1)としてまとめた。文言等については審議をいただき、今後のスポーツ推進計画の中に記載をしていく予定。

事務局…(1)の本市のスポーツ環境については、昭和52年スポーツ振興健康増進都市を宣言したことや、いつ頃スポーツ施設を開設したかなどを記載している。

(2)の乳幼児のスポーツの状況では、小学校に上がる前の子ども達の状況について記載している。

(3)の小中学生のスポーツの状況では、本年4月に実施した市内小中学生のアンケートに基づき現状と課題を記載している。市内のスポーツ少年団の状況は、この中に記載した。

(4) の学校体育の状況については、運動部の活動状況や新体力テストについて結果を掲載した。

(5) 成人のスポーツの状況について、ここでは、高校生以上、65歳までの方々を成人として掲載し、また、体育協会の状況やスポーツ推進委員の状況などについても、この欄に記載をした。

(6) 高齢者のスポーツの状況については、市民総合体育館や学校体育施設開放利用などの状況を確認し、現状と課題としてまとめた。

(7) 障がい者のスポーツについて、現状では市内に障がい者のスポーツ団体はないことから、データの収集までには至らなかったが、福祉スポーツ大会などが開催できない状況になっていることなどから、まずは、体育館の復旧に併せて、障がいのある方がスポーツをできる環境整備を行うことを課題として挙げた。

(8) スポーツ事業について、年間を通じてのスポーツ事業を掲載した。

(9) スポーツ施設については、所在地や概要・利用者数などを記載した。

(10) その他のスポーツ施設について、体育館や運動公園のほか、公民館などの身近な社会教育施設において、スポーツ・レクリエーション活動を行っている状況を記載した。

そのほか、(11) スポーツに関する情報や(12) 保健・福祉・医療との連携についても、現状と課題を記載した。

・施策体系（案）の考え方について

事務局…一般的に計画を策定していく手順としては、各種データなどから、現状と課題を抽出した後、計画の基本的な考え方、あるいはどのような視点で考えていくかなどを検討し、大きな目標や基本理念などを設定し、その後、目標を達成するために、具体的な計画を立てていくという柱立てになっている。

そこで今回、例示であるが施策体系（案）の表を示させていただいた。

・ヒアリング調査の実施について

事務局…ヒアリング調査の実施については、市民アンケートやデータ収集に加えて、地域で活動しているスポーツ関係団体の皆さんのお考えを伺うため、調査票に記入していただく方法で用紙を直接渡し、スポーツ推進計画の特に施策の部分について反映していこうというもの。

一同に団体を集めてヒアリングするのではなく個別にあたる方法とする。手渡しする前に趣旨を説明、記入後、受け取る時に少し時間を設けてお話を聞く。

【意見交換】

・現状と課題について（その1）

委員…乳幼児のスポーツで小学校1年生に入ってくる段階で体力テストが県平均を下回っているという状況があるので、そうした中、小学校体力向上推進委員会や小学校体育連盟において体力向上にかかる様々な活動を行っている。また、中学生の運動部活動の加入状況であるが約7割は県内でも多いのでは。

小学校から中学校へ移る際にも体力が向上しているのは事実ある。

会長…乳幼児の体力は弱いけれども、小学生や中学生になるにつれて体力は向上していくということか。

委員…中学生では県平均を超えているのではないか。

委員…ここには掲載されていないが、運動会の組体操がニュースになっていた。市内の小中学校で組体操をしている学校はいくつあるのか。骨折やけがの問題で学校としては控えたいという考えはあるのか。

委員…小学校で半分以上が組体操を行っている。ただし報道にあるような大きなピラミッド型の組体操までではない。中学校では1校実施している。

委員…運動会から昔あった危険な競技がなくなりつつある。

委員…騎馬戦を実施している小学校はある。保護者から否定的な要望はないか。

委員…組体操については否定的な意見は出ていない。また、段も高くしていない。組体操においては教職員が必ず付くので安全には配慮している。

委員…危険だからさせないのではなく、経験させることが大事ではないか。

委員…今の児童の状況が昔と変わってきている。厳しくても体験を積む中で成長していくと思う。また、体力テストの結果よりも、少年団等に加入して体を動かす児童が多くなれば、全体の体力は平均より下回っていても、個々では体力は伸びていく。県平均がどうなのかという事は大きな問題ではない。

会長…県平均より上だ下だという比較をするよりも、一人ひとりスポーツをできる環境を増やしていく方がよいということでしょうか。

委員…自分がスポーツをできる環境にのめり込むようになれば、体力は自然に伸びていく。強制的にスポーツをやらされても体力は伸びない。

事務局…様々な現状と課題がある。今後、計画を策定していく上で、今気づかなくても、今後の審議の中で出てきた場合は、挿入することは可能であるので忌憚なく言ってほしい。

事務局…乳幼児から小学校、中学校に成長するにつれて、体力が向上していく中で、よいスポーツ競技に出会っていただければと思うし、スポーツに触れあう環境をいかにして作っていくことが大事である。

委員…以前、サッカー教室に有名な選手を呼んだことがある。そうした方が直接子ども達に指導する機会を多く作れば、子ども達がスポーツをするきっかけに繋がって

いくのではないか。

会 長…市では子どもスポーツ大学を行っていて、定員はあるが、子ども達は、指導者からスポーツを教わっている。よいきっかけになればよい。

委 員…障がい者スポーツの中で、同じ障がいのある人でもスポーツをしたときに理解度が違うこともあるし、一人でスポーツ会場に行ける人、いけない人がいる。そうした中、障がいのある人にスポーツを教えるためには保護者の協力が必要であるし、障がいの程度によって変わってしまうが、スポーツ環境をどう整備していくかが課題となる。

会 長…障がいのある人にとっては周囲のサポートが大事である。

委 員…表現の中に句読点などが違うのではないかとこのところがある。

事務局…文言や表現、句読点については、全体的に素案ができた段階で再度修正していく。

委 員…健康体操については65歳以上の参加が多い。

会 長…今は参加者が増えているのか。

委 員…体育館が閉館になって一時休止してから参加人数は増えていない。スポーツは継続が大事であるので、施設の充実は必要。

委 員…健康増進センターで行っている取り組みと、教育委員会で行っている取り組みが今の所連携されていない状況であり、課題である。

会 長…例えば。

委 員…意識調査を行った際でも増進センター、教育委員会それぞれにおいて行っており、お互いにデータを共有し合うことが今までなかった。そういう意味でも今後連携は必要。

委 員…その他のスポーツ施設で「南畑ふれあいプラザ」とはどこにあるか。

事務局…現在の阿蘇神社付近、昔、みずほ学園があったところである。地元の利用率は高い。20～30人程度入ることのできるホールがある。

委 員…富士見ガーデンビーチについて、夏場だけの営業となっているが、収支はどうなっているのか。

事務局…現在、市から指定管理料を支払って指定管理者が運営している。

委 員…冬季に何か活用はできないのか。

事務局…ここ数年は、閉鎖期間は、来年安全に営業できるよう、点検や改修工事を実施することに充てている。

委 員…運動公園の利用について、土日は利用率が高いと思うが、使用料については。

事務局…平日も土日も使用料は同じ。

委 員…平日の使用料を下げ土日の使用料を上げてみては。そうすれば平日の利用も増えるのでは。

事務局…運動公園は河川敷であり、専用の野球場であるとかサッカー場ではないので、今のところはそうした考えは持っていない。

会 長…学校体育施設、特に体育館については、照明が切れて暗くなっている所がある。床のラインも消えている。それが長期間続いている。使用料が無料であることは承知しているが、スポーツ環境をよくしていくという視点に立てば改修も必要ではないか。お金がかかることは承知しているが。

事務局…本来は学校施設であるので、学校教育の中で対応していくことになるが、身近な地域でスポーツを行っていただくことを考えたときには、早急な対応が必要になってくる。

予算の都合上、一定の照明個数が切れたときにまとめて交換することもある。

また、改修に併せて実施するという事もある。

事務局…そういったきめ細かい修繕をしていくことも課題としてある。

・施策体系（案）の考え方について

会 長…示された施策体系の考え方は一般的なつくり方でよいか。逆に細かい施策を先に決めて最後に大きな目標を決めていくという考え方もあるのでは。

事務局…既に他市でスポーツ推進計画を策定しているところが多くなっている。他市の計画も参考にしているが、半分以上のスポーツ計画のつくり方が、アンケート結果に基づき現状と課題を抽出し施策に結びつけている。

ただし、本市でおこなったスポーツアンケート調査の回収率が高くなかったため収集したデータを参考にできるのかというご意見もあった。従って、現状と課題の分析の結果とアンケート調査の結果がほぼ一致しているという考えのもと、施策体系を組んでいきたいと考えている。

会 長…富士見市だけの課題も出てくる。

委 員…初めに基本理念を決めていくということか。自分たちがこうなりたいという事が先にあってそれを達成するためにはこれが必要で、その下にこれを実施するという進め方になるのか。

事務局…ご指摘のとおり、はじめに大きな基本理念目標を決めていく。例えば市民の週1回のスポーツ実施率を〇%にしていく等…その目標を達成するためにはどのような施策が必要かという細かい部分に入っていく進め方となる。

会 長…事務局として現時点で基本理念の案はあるのか

事務局…次回以降、提案してご審議いただきたい。

作 野…市民アンケートをお手伝いした立場で意見を述べさせていただきたい。

他自治体のスポーツ推進計画の策定のお手伝いをしてきた中で、理念は課題を共有していただいてどうするかという時に抽象的なレベルのフレーズとなる。キャッチフレーズ的な意味合いとなる。

富士見市の課題を皆さん方に共有していただくのが大事である。その時に、体力的な事で言うと埼玉県の平均があって比較参照点があるのでそこに比べると高い

低い議論が成り立つ。できる限りこうした参照点があると現状の評価ができる気がしている。

また、気が付いたところでは、運動部活動の話で加入率の数字が出ており、全国的にも高い印象を持っている。運動部活動でいうとこの10年間の間に部活動の数自体がどのように推移してきたか、恐らく減っているはず。そうすると「子どものスポーツ環境を考えなければならない」という課題が出てきたり、成人のスポーツ状況のところと言うと9ページの中ほどに、週1回スポーツをする人は約半数だという数字があるが、確認したが41.4%である。今国の平均でいうと47.4%であり富士見市はかなり低い。

数値目標の話もあったが定期的に活動する人を増やすというのは、まずはかなり大きな課題となるはず。国や県の参照点では、国の計画では3人に2人、66%まで上がっているし、東京都の目標は70%である。結構高いところまでハードルを上げている。それに富士見市が追随する必要はないが、そういう参照点があるといいのでは。

施設のところ16～17ページあたりに各施設の利用者数の推移があげられているが、数字を見ると平成26年度になって軒並み減っている。総合体育館の影響もあるが他のところも軒並み減っている。

市民意識調査では市外で活動している人が多いという結果であった。そうしたことから、もっと市内で運動してくれる人を増やすことや生活圏の中でスポーツを行える環境を整えるなど、もしかしたらそういう課題があるかもしれない。また、その他のスポーツ施設の中で総合型スポーツクラブのことが掲載されているが、市町村に少なくとも1つ以上あるところ、いわゆる育成率というところが直近の調査で80.1%である。そうすると各市町村に1つはあった方がいいとか、100%に近づけようという目標があるので、課題を抽出するときに何かこう参照点を可能な範囲で入れ込んでいただくと、富士見市の評価が客観的にできるし課題というのでも共有できるのかなという感想を持った。

会 長…参照点を入れたほうが評価が分かるということには同感である。また、現状と課題を共有してから次に進めていくという考えでよろしいか。

・ヒアリング調査の実施について

会 長…サンプル数が少ないという事はないか。

事務局…昨年アンケートを実施している。また、今回はスポーツに取り組んでいる団体に直接話しを聞くので具体的な確認の意味もある。また、スポーツ担当として、日頃、スポーツをしている市民の皆さんとお話ししているのでそうした中で、要望等も聞き出している。配布する前にお話しをして、ご記入いただき回収する前にご意見を聞いていく手法としたい。

(3) その他

事務局…今年度、あと2回審議会を予定しているので、ご協力をお願いしたい。

以 上